

企画・編集

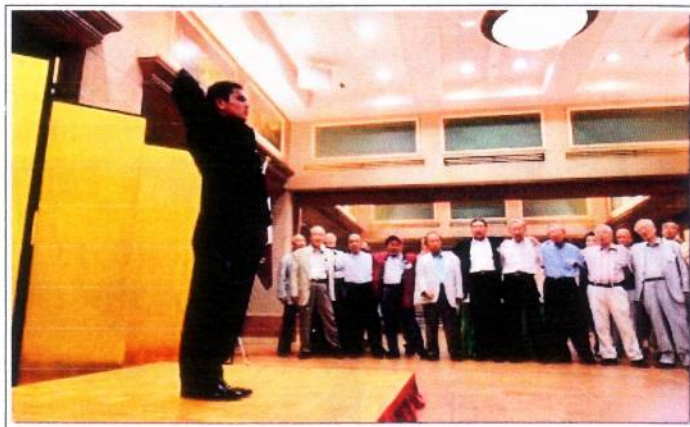
加藤順一 鈴木奎三郎
岡田吉郎 山田興太郎
増田富一 石川正利

練稲Press

発行者 関博之
発行所 練馬区豊玉南3-2-
6 第2春日ビル2F
練馬稲門会事務局

第34回総会盛大に開く

第34回練馬稲門会の総会が7月14日、豊島園のレストラン「カリーノ」で開かれました。今年は122人が参加して「都の西北」の合唱が響き渡りました。荻野隆義会長が「サークル活動が盛り上がり嬉しい」との挨拶。華岡正泰顧問の乾杯でにぎやかなパーティー。早稲田大学からは迫田実理事が出席しました。現役の学生も参加してOBの元気の活躍に感激し「後続け!」。この1年では「ウォーキング部会」「釣り部会」等が新発足しました。新しく55名が加わり「朋友」「己知」の絆が一段と強くなりました。



サークル活動全開・海に山に「青春の汗」をたぎらせ「猛暑」を乗り越えた



「酒楽会」やっぱり「日本酒」

猛暑を嫌って2カ月ぶり。見慣れた「練馬酒楽会」の飲み助集い、例によって例の如くの雰囲気と相成りました。

これが酒の効用であり、酒の醸し出す演出の妙なのです。今回は、華岡かいちょうが、まるで貴重品を両手で押し抱くように、一步、一步足取りを確認するようにお見えになった。それもその筈、福井を代表する蔵元であり、幻の酒と呼ばれ、大吟醸なる区分けの火付け役、純米大吟醸「黒龍」そのものではありませんか。美酒に手が震え、唇が痺れてしまうのではないかと懸念も杞憂に過ぎず、何とフルーティなこの味。一回、感激一入。

やっぱり量の上では日本酒に限る。「酒」の範疇あ

れこれあれど、これに勝るものなし。これに美女が・・・は欲張りすぎか。19時をもって一次会はお開き。飲み足りても足らなくても、演歌よし、フォークよし。尽きない話題の続きのある御仁も、それぞれ足の向くまま気の向くままに・・・。

テニス部会・夏合宿で腕をあげ、拡大中

テニス部会の今夏合宿は練馬区立少年自然の家「ベルア軽井沢」で。区への誇る大型多目的施設で、食事は好評。コートは8面。今年は思い切って3泊の合宿。さわやかな高原のコートに白球を追うメンバーは青春そのもの。テニスの合間に中軽井沢の「北杜夫展」や、ジョンレノン夫妻ゆかりの唐松林の中、カフェ「離山房」を訪ねたり高原の夏を満喫。夜の親睦会ではワインのテイスティング。ワイン通が3種類のワインを揃え、品種、産地、価格順を当てる余興に湧きました。

来年はビールのテイスティングを予定しています。

テニス部会は練馬区のコートで月例会を行っています。10月には上石神井の高等学院テニスコートで「秋季部内優勝大会」を開催しました。秋晴れの中、昨年の全日本優勝者の辻田さん、元庭球部主将の田中さんら上級、中、初級がペアを組んで対戦する大会に20名が参加。現在テニス部会会員は27名に拡大。体験参加歓迎で、益々元気にあふれています。





リーダー登場

ゴルフ部会長 **中島晴喜さん**

日焼けした力強い面持ちはいかにもベテランゴルファーを感じさせる。グリーンに登場して50年。練馬稲門会ゴルフ部会は会員100人を越える。そのメンバーを束ね運営してゆく気迫を備えている。「夏はやらない」と行動は慎重。今年5月に金婚式を迎えた。「新婚時代に家内から勧められたのが始めた動機」と言う。1stRスコアは158(73+75)。27歳。ベストスコアは69(31+38)55歳だった。昨年、ゴルフ部会は10人の幹事体制を組んだ。夢のホールインワンは平成20年3月鳩山CCで実現した。77歳の今、ハンデキャップは12(小川CC)。

身体を鍛えるために最近「ウォーキング部会」のイベントにも参加して颯爽と歩いている。グリーンでも同じ。均整のとれた身体と、正確なショットはゴルフ部会会員の模範となっている。練馬稲門会の運営にも長年力を尽くして「各サークル予定表」のHP掲載は中島さんの提案だった。

「今の目標は出来るだけ早目にエイジシュートを達成したいこと。そして生涯を通じて健康とお金が続く限りゴルフを楽しみたい」と言う。

上の写真は平成23年10月高坂CC米山コースでのドライバーショット。写真サークルの庄村勝男さん撮影

待望の釣り部会誕生！集まれ

2年越しの努力でようやく「釣り部会」がこの夏に実現した。7月23日。天気晴朗なれど波高し。荻野会長、石川、柳、増田、関、岡田の6名が千葉・相浜港から船に。

目指すはイサキ。新部会長・岡田さんは「坊主が出ないように」と天に祈る気持ち。船酔い1名。悪戦苦闘の某も自らのコマセで5匹の収穫。他人のことなど構っちゃられないとばかり、それぞれ5～10匹の釣果でスタートとして成果は上々。午後3時に納竿。クーラーボックスを抱えてフェリー、京浜急行では爆睡。荻野会長の提案で行付けの「寿司屋」で捌いてもらうことに。この時すでに午後9時。「千葉は遠かった」と言う感想もあったが、岡田新部会長は「坊主は出なかったしメデタシ」、



山ガール台頭・南アルプスから富士山へ挑戦

山ガールに押され気味の高年齢初心者。会発足から2年、毎月1回西武線沿線での安全登山で力をつけたが、夏山最後の挑戦となった富士山では、快晴に恵まれたものの、山の厳しさを味わった。日本の代表的山岳景観で親しまれる上高地に遊び、大正池、田代池、河童橋から眺める穂高連峰に羨望の眼差し。明神では可憐なニンソウの群落と淡いピンクのシャクナゲに歓声を上げてアルプスの魅力を満喫した。この夏、好天に恵まれてそれぞれのアルバムに一生の思い出を残した。

◆6月上高地(28名参加)・徳本峠。

◆7月南アルプス鳳凰三山(8名参加)。

◆9月富士山(9名参加)

今後の予定

◆9月22日棒の峰(雨天中止2回)

◆10月6日富士山5合目「お中道めぐり」

◆10月13日西澤溪谷 ◆11月17、18日(忘年登山・妙法ヶ岳・太陽寺)

◆12月8日 高麗峠・宮沢湖



各サークルの予定、日程は練馬稲門会ホームページへ (<http://nerima.waseda.-info.com>)

あれこれ余論①**新連載企画スタート。多士済済。会員の皆様のスペースです。ご利用を期待します**

第一回は中世城郭研究会・倭城址研究会代表・八巻孝夫氏（45年法学部卒業）に練馬区の城郭史についての御話を掲載いたします。八巻氏は日本の「城郭」についての権威で、各地のカルチャーセンターなどで講演などを行っています。私たちの住む身近な所にある「歴史」を振り返っていただきます。

.....

練馬区にも城があった・「石神井城」の話 八巻孝夫（法45卒）

練馬区にもいくつもの城があった、というと驚く人が多いかもしれない。

ただこの城は中世（鎌倉時代から室町時代）の城で、近世（安土桃山時代から江戸時代）の天守閣や石垣、水堀のある城とは、規模も違えば見た目も大きく異なっている。しかし、見た目がどんなに違おうとも、城としての本質は同じであり、時代差と用途、目的が違うことによるのである。

◆城とは建物のことではない

またもう一つ付け加えると、城とは建物のことではない。天主だけが城と誤解している人がいるが、城とは本来構造物である空堀（水堀）、土塁（石垣）などの全体を指すのである。



さて、練馬区には東京都の報告によれば、七城あったことになっているが、現在まで城の遺構が残っているのは、石神井城ただ一城に過ぎない。それでは、その石神井城を実際に訪ねてみよう。

石神井公園駅から南へ商店街を抜けていくと、10分ほどでポート池（石神井池）に着く。これは昭和9年に川をせき止めてできた池であり、本来は三宝寺池から流れ出す川であった。この池の南に面した丘の上に登ると、浅い溝が見える。こここそが石神井城の空堀（写真）である。この空堀添いに西側が小高くなっている。これも土塁なのである。

この空堀と土塁はL字型に本丸の西、北を囲っている。中の本丸は意外に広い（現在は遺構の保護のためフェンスがあり入れない）が、残念ながら見学出来ない。

◆堀の深さは6メートルだった

多くの人はこの浅い空堀を見ると、こんな空堀で城の防御が出来るのかと疑問に思う。しかし、この城が機能していたところは、空堀はもっと深かった。発掘によれば、深さは約6メートルもあり、土塁の高さを含めると掘底から10メートルにもなり三階建ての家ぐらいになるのである。簡単に空堀を越えることは出来なかったのである。（以下次号）

事務局からのお願い

サークル活動が活発になっています。サークルの新設も含めて、皆様のお問い合わせが多くなっていますが、事務局には原則として月、木曜日には係がおりますが、今回同封いたしましたサークル部会長に電話またはFAXでお問い合わせください。サークル予定は「練馬稲門会」ホームページに掲載されております。

早稲田スポーツを楽しむ会

早稲田三大スポーツの早慶野球、早明ラグビーそして箱根駅伝のシーズン到来です。この「press」が届くころには早慶野球の結果も出ているかもしれませんが、頑張れ！

平成24年10月27日（土）早慶野球第1戦

10月28日（日）早慶野球第2戦

（2試合合計36名観戦予定）

平成25年1月3日（木）箱根駅伝復路（東京駅丸の内南口馬場先門交差点）

午後12時30分集合！

いずれも、観戦後、新宿にて打ち上げ（勝っても負けても）



秋空の下・ウォーキング

新設ウォーキング部会も4回目のイベント。
春は桜、初夏の隅田川、夏のホテル。GO!

近くにあった自然楽しんで

秋、真っ最中かと思えば「夏日」がシニアを悩ませた。めげずに第4回目の「ウォーキング」は、多摩湖一周を歩いた。約13キロ。西武線沿線のルートを探して「そうだ昔遠足に来た」と思い出もあって元気、元気。午前10時西武球場前駅に14人が集合。駅前の丘に登って「狭山不動寺」へ、この寺は昭和50年開基と新しい。どうも急速な都市化で邪魔にされた仏教建築を全国から集めたい。港区芝増上寺の「御成門」がこんなところにあった。

早速、そこをスタートにしてウォーキングへ。思ったより自然が残っている。木道の湿地帯も。



よもやま話をしながら多摩湖一周へ。聞き耳を立てれば「政治談議」や大学時代の友人の消息も。結構アップダウンもあって歩きがであった。昼食は雑木林の中で。約4時間半かかってスタート地点へ。西武球場に繋がったレストランで待望のビールにありつき話の輪が広がった。

歴史ウォーキング部は、企画が勝負。体力派にも歴史探索派にも満足されるルートを研究中。試みの企画として次回は都心へ集合!。何と、政局急を告げる「国会議事堂院内見学」から始まって「憲政記念館前庭」、桜田門から東御苑へ。

江戸城の歴史を会員の八巻孝夫氏に説明をお願いして歩く。妙な企画だが、頭の体操もと企画した。12月は師走でお休み。恒例新年の「七福神巡り」は旧品川宿の「東海道七福神」を予定している。ぜひ、ご参加を。

初心者向けを再開・パソコン教室



教室が始まって早2年。築山・岡田・山田3先生の指導厳しく、ややばらつきがあるものの、スッカリキーボードに馴染んでしまった。しかし、生徒は我がまま、「写真が出ない」「USBメモリって何に」と基本が出来てない先生たちを困らせながら、長足の進歩?。今度は「新会員」の増員を目指して「初級講座」を11月をめぐりに開設する準備をしています。

パソコンも、ウインドウズ「7」から「8」に進歩。これからは「どう日常生活に使っていくか」が課題。会員同士の連絡、事務局からのお知らせに「少しは役にたて」と先生方はおっしゃるが、会員の自称ベテラン生徒は「まだまだ」とおよび腰。毎週木曜開設です。

パソコンも、ウインドウズ「7」から「8」に進歩。これからは「どう日常生活に使っていくか」が課題。会員同士の連絡、事務局からのお知らせに「少しは役にたて」と先生方はおっしゃるが、会員の自称ベテラン生徒は「まだまだ」とおよび腰。毎週木曜開設です。

カラオケ部会・歌声は響く楽しさ

カラオケ愛好会健在です。9月に第36回を開きました。現在、登録会員数は25名。最近では常時10名前後の方々が出席するようになりました。毎月第3月曜日午後4時から7時まで、西武池袋線の中村橋駅傍のスナック「樺」(けやき)を借りきって開きます。なつメロ、新曲、艶歌、童謡、ポップス、ジャズなど様々で、それぞれ得意な分野で挑戦します。

女性の参加をと希望しております。12月には忘年会として特別な嗜好を計画中です。



お詫び

紙面の都合で、「旅行部会」「囲碁部」の報告を掲載出来ませんでした。お詫びいたします。また新企画への御意見や、御希望がありましたらご連絡ください。編集委員会

◆大隈重信侯については早稲田に学んだ一人としておろそかにはできないが、維新史の中では「毀誉褒貶」はなほだしく言う人もいる。

◆例えば司馬遼太郎は大隈侯を嫌いだったらしい。

「翔が如く」では散々だ。

「彼の思想や哲学に香気がなかった」ということは言える。」◆「彼が晩年、第二次大隈内閣において有名な対支二十一カ条を中国につきつけて、強盗的な外交を行い、中国人に抜きがたい反日の歴史を出発させたのも、いかにも大隈らしい」と書く。◆人の好き嫌いはどうでもいいが、大隈侯は「西郷」嫌いでも有名。大久保の腰巾着とも言われた。

◆歴史をある一点で斬るとどのような評論も出来る。自ら振り返れば自分の「あの時」をかなり客観的に評価出来る歳になった。◆稲門会で多くの朋友を得て「昔がたり」を楽しむが、時として「沈黙」が襲いかかる。自分史の壁か。◆思想や哲学ほどの深みは無くとも「香气」を発する日々でありたいと思う。

編集後記

加藤順一